

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	F I C T株式会社 「(旧:富士通インターコネクトテクノロジーズ株式会社)」					
代表者名	氏名	三好 清司	役職名	代表取締役社長		
主たる事務所の所在地	長野県長野市大字北尾張部36番地					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	28 電子部品・デバイス・電子回路製造業				
主たる事業の概要	プリント基板加工					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外(任意提出)の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	k1	2,096	2,620	2,242	2,388	2,821
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	3,936	4,920	4,203	4,477	5,295
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	0		0	0	0
自動車の台数	台	6		6	6	6
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	43				

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2019	年度
------	------	----

計画期間	2020	年度～	2022	年度
------	------	-----	------	----

報告対象年度	2022	年度
--------	------	----

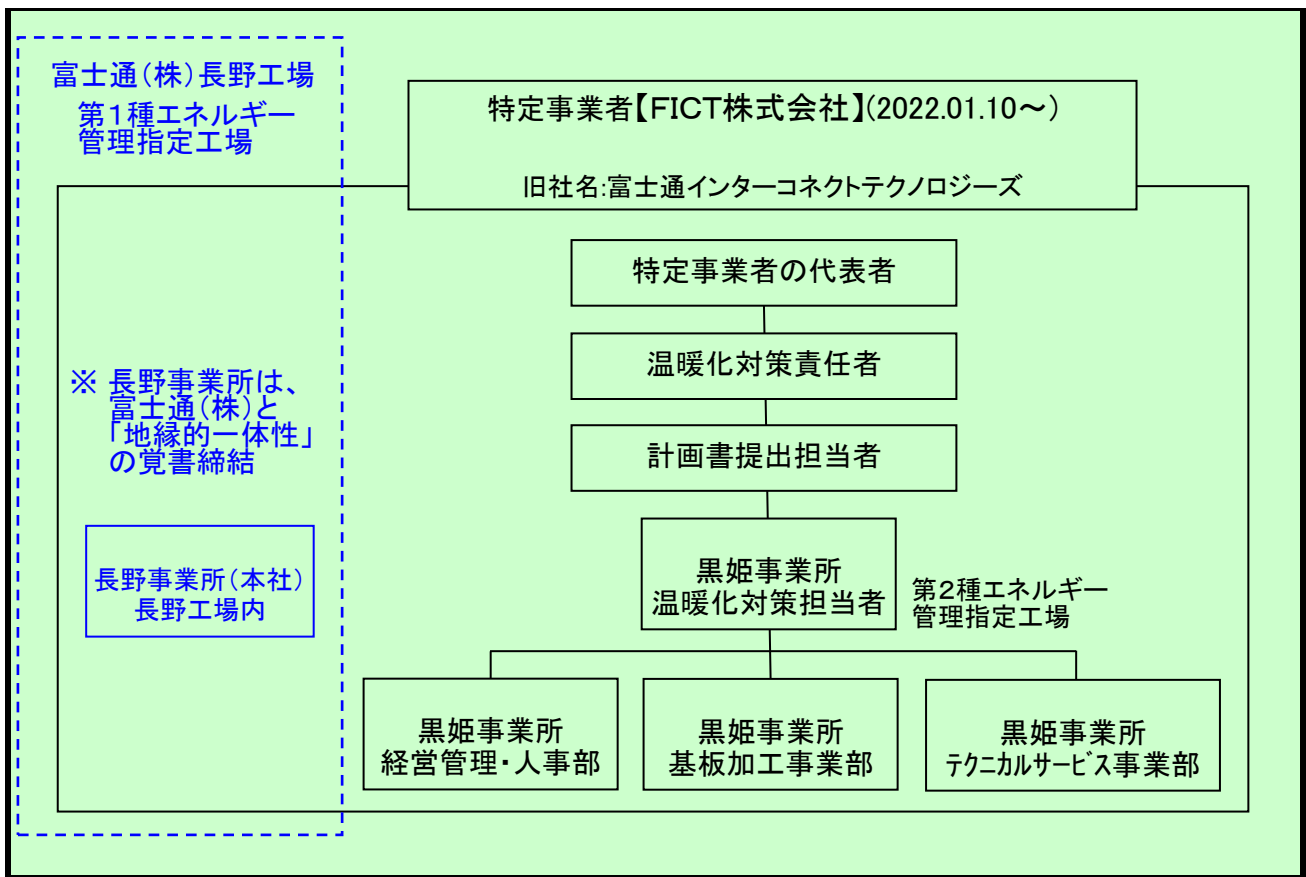
3 計画書(報告書)の公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	印刷物(紙媒体)にて計画書・報告書の公開 ■ 対応窓口 : 黒姫事業所 経営管理・人事部 ■ 閲覧時間 : 10:00～15:00 ■ 閲覧場所 : 黒姫事業所商談ルーム ■ 電話番号 : 026-466-9980 (代表)
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

環境マネジメントシステムを通して、法規制の遵守・環境対応商品の開発/促販・省エネルギー・廃棄物削減・重点化学物質の排出削減・社会貢献等に取り組み、生物多様性の保全に努める。

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

- ・環境推進委員会 (月1回開催)
- ・省エネ検討会議 (随時)

様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	3,936	t-CO ₂	付加価値生産額	1,688.20	単位	百万円
2019年度	調整後排出量	3,936	t-CO ₂	基準原単位	2.33	t-CO ₂ /	百万円
目標年度	目標排出量	4,920	t-CO ₂	目標原単位	2.26	t-CO ₂ /	百万円
2022年度	目標削減率	-25.00	%	目標削減率	3.00	%	
目標設定に関する説明	設備増設により排出量は25%増を見込む。原単位については、3年間で3%削減を目標とした。電気需要の平準化、ピークカット対策とともに取り組みを進めていく。						
第一年度	排出量	4,203	t-CO ₂	付加価値生産額	2,229.30	単位	百万円
	削減率	-6.79	%	原単位	1.89	t-CO ₂ /	百万円
2020年度	調整後排出量	4,203	t-CO ₂	原単位削減率	18.88	%	
	削減率	-6.79	%				
排出量等の増減理由	排出量については、主に基板部門の生産設備増設に伴い排出量増加となった。原単位については、付加価値生産額（生産量）が増加し効率の良い設備運転ができたこと及び省エネ諸施策の効果により改善した。						
第二年度	排出量	4,477	t-CO ₂	付加価値生産額	2,549.10	単位	百万円
	削減率	-13.75	%	原単位	1.76	t-CO ₂ /	百万円
2021年度	調整後排出量	4,477	t-CO ₂	原単位削減率	24.46	%	
	削減率	-13.75	%				
排出量等の増減理由	排出量については、主に基板部門の生産設備増設に伴い排出量増加となった。原単位については、付加価値生産額（生産量）が増加し効率の良い設備運転ができたこと及び省エネ諸施策の効果により改善した。						
第三年度	排出量	5,295	t-CO ₂	付加価値生産額	2,294.30	単位	百万円
	削減率	-34.53	t-CO ₂	原単位	2.31	t-CO ₂ /	百万円
2022年度	調整後排出量	2,425	t-CO ₂	原単位削減率	0.85	%	
	削減率	38.38	%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由	排出量については、主に基板部門の生産設備増設に伴い排出量増加となった。原単位については、受注減により当初見込みより設備稼働が減少する事を考慮し、効率の良い設備運転及び省エネ諸施策の実施により改善した。生産設備増設にあたりインフラ設備も増強していますが、インフラ設備は生産設備稼働と連動しないためCO ₂ の排出増となった。						

様式1号
(総括票)

6の2エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位	
2019年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2020年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2021年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	43	t-CO ₂			単位	
2019年度				基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2020年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2021年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	削減率		%	原単位削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I～II	I-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	I-2	エコドライブの励行						
III	III-1	次世代自動車の導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	区分 番号	対策内容	計画		状況	
				実施予定 年度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施 年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	360799	集塵機の省エネVベルト交換	2021～ 2022	38		
2	エネ起	360799	コンプレッサの更新 (3台)	2020～ 2022	141	2022	141
3	エネ起	380752	工場内照明器具の更新	2021～ 2022	5	2021	5
4	エネ起	350699	ケーブルロス削減 (幹線ケーブル化、サイズアップ)	2020～ 2022	3	2020	3
5							
6							
7							
8							
9							
10							

9 自然エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

様式1号
(総括票)

10 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満	1	3,936	1	4,203	1	4,477	1	5,295
1,500k1未満							0	0
合計	1	3,936	1	4,203	1	4,477	1	5,295

11 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂				
CH ₄				
N ₂ O				
HFC				
PFC				
SF ₆				
NF ₃				
合計	0	0	0	0

12 次世代車使用台数等の導入状況 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車				
その他 (ハイブリッド等)				
合計	0	0	0	0
自動車総数	6	6	6	6
次世代車導入割合				

様式1号
(総括票)

1.3 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	立地的にマイカー通勤は不可欠のため、特に対応なし
自転車利用促進	特になし
来客者の交通対策	該当せず
物流の合理化	特に計画なし

1.4 環境配慮活動状況

環境配慮活動	活動内容の詳細		実施年度
	実施内容		
<input type="checkbox"/> SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している		
<input checked="" type="checkbox"/> 環境マネジメントシステム	名称	ISO14001	1995
<input type="checkbox"/> TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 支持を表明している		
<input type="checkbox"/> グリーンボンド	グリーンボンドを発行している		
<input type="checkbox"/> ESG投資	ESG対話プラットフォームに登録している		
<input type="checkbox"/> SBT	SBT を策定済、またはコミットしている		
<input type="checkbox"/> RE100	<input type="checkbox"/>	RE100にコミットしている	
	<input type="checkbox"/>	再エネ100宣言RE Action へ参加している	
<input type="checkbox"/> その他			

1.5 自由記載欄

<p>再生可能エネルギー（電力）使用状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・FICTホームページに【CO₂フリー電力購入契約証明書】開示 https://www.fict-g.com/sustainability/#target2 ・2022年度実績 ⇒ 約58.8% (2023年度100%予定)
